



師走

事業所が今の場所に移ってじき1年です。職員も増え、利用者さんも増え忙しいの一言につきる1年でしたが、最後の締め言葉は、やはり「支援は楽しかった!!」でしょうか。

生活支援センターは、年末年始も稼働します。利用者さんのニーズに応えられる事業所でありたいと思う反面、働く人たちのことも考えていかなければとも思います。

利用者さんの笑顔があるから、頑張れるし、意欲もわいてきます。

来年は、法人で初めてのグループホームが開所します。総合支援法では、障害支援区分が4以上の人は個別で居宅介護のヘルパーさんを利用することができます。食事の介助や入浴の介助など手厚い支援が受けられるようになり、ヘルパーさんの出番がまた増えそうです。(吉川)



～お願い～

いつも支援にご協力、また報告書・記録票の回収・送付をありがとうございます。

今月は、年内最後の月になります。

事務手続きの都合で申し訳ありませんが、12月末までに早めの記録票回収・報告書の送付をお願いいたします。

～お知らせ～

グループホーム“ほのか”の

宿直スタッフと給食スタッフの募集要項を同封しました!!

ご興味のある方ぜひお問い合わせください!!

1月14日(水)・15日(木)と面接日を開きます。

学生のみなさん、医療関係専門学校生のみなさんにも声をかけています。たくさんの仲間が増えそうですね!!

ご不明な点などはセンターまでお問い合わせください。

“ほのか”で新しい生活がはじまる皆さんのためにどうぞみなさんのマンパワー!温かいきもちで支えてくださいね

12月7日のヘルパー講習会のご報告

総勢14名お集まりいただき『子どもから学ぶ』をテーマにお話を伺いました。

岡田 馨先生の印象に残った言葉・これからの支援に活かしていきたい言葉など皆さんに伺いましたので抜粋してお届けします。

☆『**通信簿は教え方に対する評価**』工夫、試み、研究、観察などいつも子どもに目をむけていらつしゃったんだと実感しました。

☆『**子どもから学ぶ**』これから一人ひとりのいろいろなことを学んでお互いが過ごしやすい時間をもっとふやせていけたらいいなと感じました

☆『**怒らずにひとつひとつ説明していく**』そういえばまだ言葉もあまり理解できなかった自分の子育てを思い出しました。わが子のように…あの頃のように子育て同様に支援していけばよいのだなと思いました。

☆印象に残ったのは、**成人になって手はつながない、肩を持ってもらうか、荷物を共有化すること** 自分自身もなるべくならば最小限にして繋がらない方が良く思っていたので再認識する良い機会でした。

☆パニックを起こした後にご本人がフラッシュバックでつらくなるということを再認識し、改めてパニックを起こさないような支援を心がけないといけないと思いました。常にご本人に理解できるように接しているか問いかけながら共に学ぶような支援を心がけていきます。以上

これからもテーマを決めてこういった講演会や研修会で横のつながり・共有認識を深めていけたらと思っています。

利用者のみなさまへ、またご自身のスキルアップのために知識を知恵にかえ、よりよい支援になりますようどうぞよろしくお祈りします。ご参加くださった皆様ありがとうございました。(担当:山口・山本)

★編集後記★

師走は…足音をたてて走馬灯のようにかけめぐっています。

ことしも・・・

暑い日も、どしゃぶりの風雨のなかでも利用者のみなさんと過ごし、臨機応変に良い支援をしてくださりありがとうございました。

あと数日であたらしい年がやってきます。

利用者さんの笑顔がみられる支援のためにこれからもどうぞよろしくお祈りします。穏やかであたたかい年の瀬をみなさまお揃いでお過ごしくださいますように。 良いお年を!!